

写真計測・リモートセンシング対応型 ドローンによる3次元測量 SURVEYING FROM THE SKY



機体



三次元地形モデリング

弊社、マルチコプター講習受講者のみレンタル致します。

操作指導・フライト依頼も承ります。

- **GPS制御による自動航行が可能**
機体に搭載のGPSがリアルタイムに信号受信し、自立飛行。
- **動画・静止画像撮影が可能**
自動シャッター機能での写真撮影・動画を記録ができます。
- **専用ソフトにて三次元地形モデリングが可能。**
- **搭載機材のオプションあり(ガス検知器・ウインチ等)**

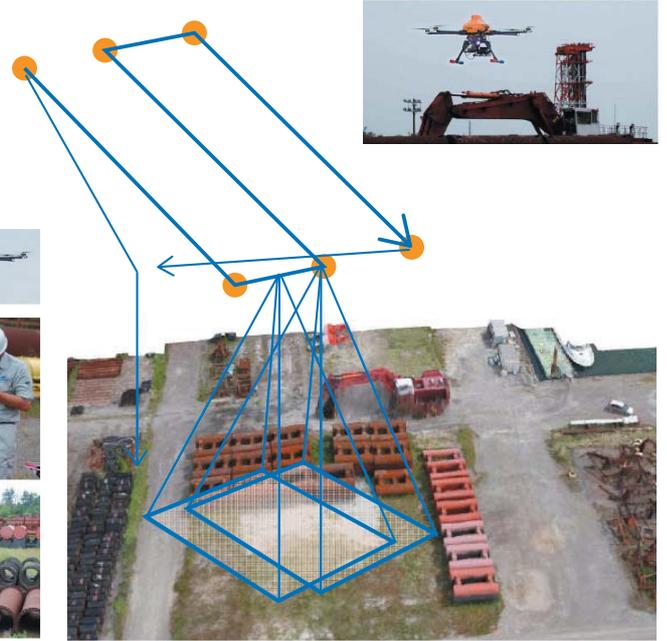
活用例

- 土砂災害・火山災害ほか 各種調査業務
- 建物、橋梁点検
- 大型建設現場における土量計算
- 空撮など

万が一に備えて
損害賠償保険にも対応

計測イメージ

● WAYポイント (自動航行する場合の設定した目標座標)



USM-S1 機体仕様・性能

形状(W×D×H)	1,100×900×470mm(開) 500×490×520mm(閉)
重さ (機体本体、映像伝送装置、データ取得装置、カメラジンバル、バッテリー)	8.84kg (4,370g、150g、304g、480g、1,368×2g)
電源(リチウムポリマー)×2個	22.2V 24,000mAh(12,000mAh×2) 対応
飛行可能気象条件	風速10m/s以内、小雨
飛行時間、ペイロード	10分～25分(ペイロードによる)、5kg
最高飛行速度、最高飛行高度	60km/h、海拔1,500m
手動操作可能距離／オートパーロット	500m～1,000m(2.4GHz)／DJI WooKong-M
カメラジンバル／映像受信モニター、映像伝送距離、周波数	2軸制御ジャイロ搭載／7インチ、約1km、2.4GHz

改正航空法要約 弊社は改正航空法のルール及び関係法令に沿ってレンタル・計測業務を実施いたします。

飛行禁止空域	A 地表又は水面から150m以上の空域 B*1 空港・ヘリポート周辺 C*2 人口密集地
飛行方法	D 日中(日出から日没まで)に飛行させる E 目視(直接肉眼による)範囲内で飛行させる F*3 第三者又は第三者の建物、車両との物件に30m以上距離を確保する G 祭礼、縁日等多数の人が集まる催し場所の上空を飛行させない H 危険物を輸送しない、物を投下しない
承認が必要な飛行	夜間飛行、目視外飛行、人・建物と30m未満、イベント上空、所定以上高度、空港周辺、危険物輸送、物件投下
申請方法	指定書式を飛行開始日の10開庁日前に申請 空港周辺及び高度150m以上は空港事務所、それ以外は国土交通大臣へ提出。 現状は郵送で送付、近日中に電子申請が可能
*注釈1	「空港周辺」は以前同様の考え方で、空港周辺9km以内は禁止空域と考えてください。制限表面が空港ごとに種別されています。
*注釈2	「人口密集地域」は弊社で確認しますので、飛行エリア住所をご連絡ください。 その他の確認方法として ・国土交通省HPで確認できます http://www.mlit.go.jp/koku/koku_tk10_000003html ・総務省HP地区による小地域分析で確認できます https://jstatmap.e-stat.go.jp/gis/nstac
*注釈3	学校、病院の上空は飛行禁止 高速道路、新幹線はその上空及びその周辺は飛行禁止 鉄道車両、自動車は30m以上を保持 高圧線、変電所、電波塔及び無線施設は十分な距離をとる
施行日	2015年12月10日 施行

総合レンタル業のパイオニア
西尾レントール株式会社
<http://ict.nishio-rent.co.jp/>

取扱店

通信測機営業部 建設ICT営業課

〒108-0022 東京都港区海岸3-21-32 安田芝浦7号ビル3F

☎03(3769)8240

FAX. 03(3769)8241